



全国でもめずらしい 三十三身像のある 調布のお寺

旧甲州街道沿い、京王線西調布駅から北へあるいて三分。

調布市内で唯一の仁王門も残っている、歴史のあるお寺「西光寺」さん。

ご住職の長谷さんは大変お話し上手な方で、物語を聞くよう色々なお話を飽きずにお聞きしてきました。

修行中の様子など、普段知ることのできないお話も満載です！



天台宗 西光寺

毎年8月10日の四万六千日では、
全国でもめずらしい三十三身像も
ご開帳しております。

甲陽鎮撫隊を従えた近藤勇が甲府に向かう途中、西光寺前で休息していたことにならみ、境内には近藤勇の銅像も安置されています。

〒182-0035

調布市上石原1丁目28-3

TEL: 042-482-3320



天台宗 西光寺

住職
長谷 瑞信 氏



長谷さん

そうですね。南北朝の終わりなんか、はつきりとは分からぬのですが。

ではなぜ六三十年という数字が出てくるかというと、このお寺の前身、大元はこの場所ではなく、もう少し川の方だつたろうと言わっています。

ここは上石原という地域ですが、甲州街道沿いに布田五宿がありました。江戸時代に幕府の天領地として、国領、上布田、下布田、下石原、上石原で五ヶ村と言えます。うちは一番西の端ですが、もともと上石原というくらいですから、もつと多摩川の方にあつたようです。この辺り今は布田と言いますが、元々は布田郷村で、そこに上石原も下石原も移つてきました。その頃お寺も一緒に移ってきたのです。

今でこそ西光寺と言っていますが、移つてくる前は「石原聖天坊」という名前でした。書物にも「石原聖天坊」と載つていて、これがお寺の名前だったというのが分かっています。

前回の企画では、若手の経営者ということでインタビュー先長が行く!という企画で、会員の方にお話を伺いしてインタビュー形式でまとめています。

前回の企画では、若手の経営者ということでインタビュー先長が行く!という企画で、会員の方にお話を伺いしてインタビュー形式でまとめています。

江戸時代頃でしょうか。江戸時代頃であります。江戸時代頃であります。

長谷さん

その頃に村ごと移動してきて、お寺が役所代わりになりました。

この辺りや府中もそうですが、どこも藩に属さない天領地で、うちの「石原聖天坊」もどちらかというと祈祷所で、修驗系の修行をしてたと思われます。ですがもう記録が残っていないのです。

※修驗：山野や靈山などで苦行を積み、靈驗ある法力を身につける修行のこと。



天台宗 西光寺

住職
長谷 瑞信 氏



長谷さん

ですが、歴代の住職についていくつか記録が残っている中で、初代の和尚の三十三回忌を行ったという記録がわざかに残っているのです。それは『私案鈔』という、深大寺の昔の書物です。非常に優れたお坊さんがいて、その方が法要の際に、趣旨を述べる「表白」というものを書き残していました。お寺の初代の三十三回忌の表白が『私案鈔』に載っているのです。三十三回忌ということは、三十二年前まではその方が生きていたわけです。

ということは、その時にはお寺があつたよね、と。それで少なくとも六三十年ほど前にはあつたということで、だいたいの年数が特定できました。

村野広報委員長

そういう経緯なんですね。

ちなみに私も府中の白糸台で、上染屋村の出身です。やはり川の方から、旧甲州街道ができた時に上がってきた部落のような感じでお寺は武藏野台の本願寺です。

長谷さん

そうですか。（本願寺は）親戚のおばあちゃんの実家です。

村野広報委員長

ご親戚でも宗派が違うのですね。

長谷さん

今でも宗派の垣根を越えて奥さんをもらうことは結構あります。やはり業界の人同士だと勝手がわかつているということで、お寺のお嬢さんがどこかのお寺に嫁に行くというのはよくあることなんですね。

村野広報委員長

そうなんですね。

行事等はどんなことをされているんですか？

長谷さん

年中行事で特色のあるものとしては、まずお正月です。このあたりは「調布七福神巡り」というのがあって、うちも七福神巡りの一つになつていて、大黒様がいらっしゃいます。

御拝観自体はいつでもできます

が、御朱印をお授けするのは一週間だけということで、調布七福神巡りの札所にもなっています。他にもお行は地味にいろいろやっています。

長谷さん

二月十五日はお釈迦様が亡くなつた日で、「涅槃会」といいます。うちにすごく大きな涅槃図があります。この規模のお寺にしては立派なもので、調布の什宝になっています。この涅槃図を掛けて、その前で供養をしたりします。あとは、境内でお焚き上げをしています。

※涅槃図：お釈迦様が入滅されたときの様子が描かれているもの。



天台宗 西光寺

住職
長谷 瑞信 氏



長谷さん

いえ、この（建物の）前にある
広いところです。

あそこの空間は、もつたいない
といえどもつたいたいですが、父

から「ここは人が集まるところだ
から、ああいう場所を残すんだ」と
言わわれて私も残しています。

そういう（護摩焚きをする）時
や、夏の盆踊りをやる時などにす
ごく重宝している場所です。

本当のことを言うと、お葬式の
時にテントを張るのに使うことが
一番多いですが。

村野広報委員長

そうですね。さすがに生まれて
すぐなんてね。

長谷さん

年中行事の話に戻ると、お寺では当たり前のものですが、四月八日の花祭りもあります。これはお釈迦様が生まれた日です。クリスマスに比べるとマイナーで、今ではハロウィンのほうがよっぽど大きなイベントですね。

村野広報委員長

甘茶を飲む日ですね。

長谷さん

そうです。花祭りでは、甘茶を小さなお釈迦様の像にかけます。うちでも「花御堂」を出してお祝いします。

なぜそんなことをするかといふと、お釈迦様が生まれた時に甘露の雨が降ったという伝説に基づいています。生まれてすぐに歩いて「天下唯我獨尊」と言つたという話もあります。生まれてすぐに歩いて「天下唯我獨尊」と言つたという話もあります。（笑）

どんな宗教でもそうですが、話はどんどん大きくなつていくもので、例えはキリストが磔にされても生きていたとか。でも子供は信じますよね。お釈迦様の話も、きっと少し違った話から出てきたのではないいかと思ひます。

長谷さん

あと、一番人が来るのが八月です。八月十日が観音様の縁日で、「四万六千日」と呼びます。この日にお参りすると、四万六千日分のご利益がありますよ、ということになります。

うちではこの日に合わせて前日から二日間、盆踊りをします。財政難でしばらくやめていたのですが、私が所属していた消防団の仲間たちが「楽しかったからやつてしまい」と言つてくれました。それで、青年会の後輩たちが中心になつて、またやろうという話になつたのです。



天台宗 西光寺

住職
長谷 瑞信 氏



村野広報委員長

青年会の方たちも踊りたかったんですね。（笑）

長谷さん

そうなんですよ。（笑）

青年会ではお金がないから、何か販売でもした方が盛り上がるからどうかと思ったのですが、「自分たちは踊りたいんだ」と言うのです。なぜかと聞いてみると、青年会つてお祭りの会みたいなものなので、お祭りシーズン以外には特に活動がないんですね。でも団結して何かしたいし、女の子の中に

は浴衣を着たい子もいるみたいですね。

それなら、と踊りを習ってきてもらいい、舞台の上で下手でもいいから君たちが中心で踊つてね、と頼んだんです。それで、青年が中心で踊つているという少し珍しいかたちです。

まあ、上の人たち（舞台上の青年）は、実は下の踊りを見ながら踊つているのですが（笑）。下で踊つている方がお手本なんですね（笑）。



長谷さん

はい。あとは健全育成ですね。なるべく百～二百円で（子どもたちが）楽しめる縁日をやりました。

（青少年）健全育成会では食べ物などを担当することが多いのですが、うちの世話人会ではスーパーボーラーすくい、おもちゃの金魚すくい、お菓子のつかみ取りなどお祭りのようなことをすると、子供が来るんですよ。最初は本当に少人数でしたが、今はすごい数です。

ただ、子どもは七～八時には帰つてしまいますが、最後は残つた大人で踊りたい人がひたすら踊つています。

村野広報委員長

子どもたちが帰つて、夜は大人たちの時間になるんですね。

長谷さん

そうです。

でも最近は子供をお寺に呼ぶことは非常に戦略的にも正しかったと思っています。どうして今まで気づかなかつたんだろうと。子どもが来るということは、親がついてきます。一番そこをターゲットにしなきゃいけなかつた。

どうしてかと云うと、私たちが普段付き合つてている檀家さんというのは、おじいちゃんおばあちゃん世代がほとんどなのです。

村野広報委員長

子どもの代までお付き合いができる、それが一番いいですよね。



花

天台宗 西光寺

住職
長谷 瑞信 氏



長谷さん

ただ、その行事 자체は赤字です。持ち出しばかり。

だけどたとえ三十万円くらい赤字でも、広告宣伝費だと思えば安いものです。



お墓が欲しい人はそんなものを見なくたって自分で探します。それ（お墓の広告）を見て行こうと思う人はあまりいません。

でも、何百人という人たちがうちに来てくれて楽しんで帰つてくれたら、何かのときに思い出してくれる。そういうのもあって、最近ではいろんなイベントを断らずにやっています。

村野広報委員長

イベントとしても楽しいし、広告代わりにも良いですね。

長谷さん 他にも、近藤勇の生誕地祭りと
いうのをここでやっています。これは子供向けというわけではあり
ませんが、近藤勇が上石原村の出身なので、年に一度それを認識して
もらうためにやっているものであります。私は（西光寺）のイベントでは
ないのですが、場所を貸していただき、生誕祭なのでお経をあげてい
たりするのです。



長谷さん お経自体は普通のお経をあげるのですが、その趣旨を述べるときに「この場合のご本尊様は何ですか」と突っ込まれたらおしまいです。だから、私がやるようになつてから、表白を練り直しました。基本的に誕生日を祝うお経はないと思うんですよ。

偉いお坊さんやお釈迦様などの誕生日を祝うようなお経のようなもののはあつても、（近藤勇は）偉人といえ巴偉人ですけど一般人用のものはありません。

供養の仕方はいくらでもあるのですが、生まれた土地を喜ぶというのはどうしたらいいんだろうかと。

供養の仕方はいくらでもあるのですが、生まれた土地を喜ぶというのはどうしたらいいんだろうかと。
なので私が何のお経をあげているのかというと、実は「このお祭りが安全に終わりますように」というお経をあげているのです。

なので私が何のお経をあげているのかというと、実は「このお祭りが安全に終わりますように」というお経をあげているのです。

この行事を祝いに来ている人たちが無事に過ごせることと、皆さんやこの村の安泰を願うというお経をあげていて、実は生誕のお経は一つも言つていません。

生誕祭に合わせて、と言つてい
るけれど、これが方便というやつ
です。（笑）

村野広報委員長 お坊さんでもそういうことがありますね。



天台宗 西光寺

住職
長谷 瑞信 氏



村野広報委員長

さつき入口の方で（近藤勇の）像を拝見してきたのですが、あれができたのが二十年ぐらい前、平成十三年と書いてありました。

そう、二十数年前ですね。

像は、（近藤勇を）ずっと研究をしている会があつて、その会が建てたんです。

会が言うには、近藤勇の菩提寺は実はここではなく三鷹市の大沢にある龍源寺さんで、そこにはお墓もあるそうです。中もちやんと首以外は入っています。

そこにも、銅像があるんですが、うちのよりもずっと小さいそ

長谷さん だけど、近藤勇と新選組の隊士たちは主にこの上石原とか、この辺の人たちなんですよ。

それで、「我らが上石原に何もないうのは非常に寂しい」ということ

で、堂々と作ろうじゃないかと。

どこに作ろうかと言った時に、「上石原の中心はここ（西光寺周辺）である」と。

そして、近藤勇さんが京都で負けた敗走してきて、立て直すために甲府に向かうんですよ。結局その途中で負けちやうんだけど、その時に甲州街道を通つて、この上石原で一旦休んだっていう話が一応伝わっているんですよ。

伝わり方は非常に危なつかしいんだけど、もう亡くなつた畠屋さんのおじいちゃんのお祖父ちゃんが言つてたっていう。（笑）

村野広報委員長 人伝えでのみ、残つているお話なんですね。

長谷さん そうなんです。

先に少し触れましたけど、このお寺 자체は幕府の命令で移つてきましたのですが、それだけではなく、ここは御朱印寺といって幕府から石高を許されていたお寺だつたんです。

長谷さん

今でも将軍様の御朱印状が何通か残っています。三代将軍からずっと、代が変わるたびに頂いたはずなので、本来は返すものらしいのですが。

だけど、近藤勇は幕府側でしょ

う。幕府側の人をかくまつて、どこかに記録を残そうものなら、後から来た官軍に「ここは御朱印寺だよね。朝敵を匿つたのか」と言はれて潰されちやつたりするのが怖いから、絶対に言わないし記録にも残さない。そんな話を得意げに話そうものなら、明治政府に目をつけられちやうかもしれないから。

そういうことだと思いますよ、私の想像ですけど。

それで、休んだ場所だからといふことで銅像を置かせてくれと言われる中、当時住職だった私の父は「うちは関係ないから」と半分断り気味だつたのです。それでもなんとかと頼むので「じやあうちの都合で動かそ ug、捨ててしまおうが何でもいいです」という念書を書かせて、それでもいいと言つからあそこに置きました。以前はあそこの目の前で生誕祭をやつていたのですが、手狭だつたので今は中（境内内の広場）の方でやつています。



天台宗 西光寺

住職
長谷 瑞信 氏



村野広報委員長
非常にお話を面白くて聞き入つ
てしましました。

我々は法人会なので、税務に関して広報などをする団体なので、やはり宗教法人と一般的の営利法人との違いというのは気になるのですが。

長谷さんは、そういうのが一番
よく見えるお立場なのかなと思う

うちにはまだ、そういう資産収入に頼りきりになるほどの規模ではないのですが、先ほどの石高の名残のようなところがあつて、多少なりとも土地があります。



長谷さん※べつとう

うちの別当をしていた若宮八幡神社という、もう少し南の方、昔

の上石原村の中心あたりにある神社なのですが、二十九三十年ぐら
い前までは、神輿を借りて御仮屋を作つて、うちの山門前でお祭り
をして、ました。

でも、ここまで来る途中に休憩所がないとお神輿は大変じやないですか。なので今でもその名残で土地があるんですよ。そこに貸地があつたりして、その収入がある程度あります。

※別当 … 数か所の寺や神社を管理する
(別当寺) 統括の役割を担う神社のこと

長谷さん あとはご承知の通り、宗教法人に
に関するいわゆるお布施的なものは所得にならず、非課税の収入に

なります。法人としての経理は二つに分かれていて、一つはいわゆる宗教法人の本業の方の収支。もう一つが課税所得のものです。土地も完全に分かれていて、境内のところは税金がかかりませんが、駐車場にしているところは固定資産税がかかるので、これは分かりやすいです。はつきり分かるものは当然分けます。

長谷さん

あと割り切れないもの、例えば私の給料などは一定の比率で按分

します。どんな比率かというと、
今は土地の面積比、平米です。

分けて計算して、毎年法人税も払っていますよ。

ただ、宗教法人は税率が低い。だからみんな宗教法人になりたがるんですよ。旨味があるんです。一定程度の経費を出して、所得が残れば当然法人税を払いますし、利益が出なくとも均等割は当然かかってきます。

村野広報委員長

そういう経理のお仕事はどなたがされてるんですか？

長谷さん

今は一応税理士さんにお願いして
います。ただ、以前は私がして
いた時期もあります。

私は次男なので、もともとは跡取りではありませんでした。あまり自慢できませんが、東洋大学の経営学部を出て、都内のある会社の経理課にいたんです。でも実は、その時に税務はやつていなかつたんです。



天台宗 西光寺

住職
長谷 瑞信 氏



長谷さん
経理課でも担当が分かれていって、最後の二年ぐらいは主に固定資産をやつしていました。
寺に帰つてきたら、先代が税理士さんと喧嘩してしまつて、「お前できるだろ」と。それから毎年決算期に一週間、それだけやつていた時期がありました。
でも法人税の申告書は書いたことがなかつたので、税務署へ行つて「どうやつて書くんですか」と聞いていました。それは会社にいた頃のテクニックのうちです。



長谷さん
税務署と喧嘩しても何もならず、むしろこちらから「私は眞面目に払います」という感じでで行つた方がよっぽどいい、ということもよく知つてましたし。だけど大変でしたね。
要するに比率計算から何から全部自分でやつて、固定資産税の按分など、私が(会社で経理を)やつていた頃はギリギリ、エクセルがなかつた時代です。

一応、表計算ソフトはあつて、その頃、会社の来期予想の数値を作れと言われてある程度やつていたので、なんとかエクセルでやろうと試行錯誤していました。

でも、税務は毎年どんどん変わつてくるし、これは絶対に危険だと思つて、自分が住職になつた瞬間にもう全部税理士さんにお願いしています。

村野広報委員長
ありがとうございます。
あとご本尊についてお聞きしたいです。
宗教学がよくわかつていないので、ホーミュページを拝見すると、ご本尊は大日如来となつています。他のお寺も見ていて、天台宗は阿弥陀如来というイメージがあつたのですが。



長谷さん
天台宗の場合は何でもありなんですよ。でも阿弥陀如来をご本尊にしているお寺が、多分一番多いのではないでしようか。
先ほどの話に少しつながりますが、うちも実は「石原聖天坊」の頃のご本尊は阿弥陀如来ではないんですね。
「聖天坊」と言つていたくらいですから、聖天さんがいらつしやるんですよ。どちらかというと、子宝などにご利益があるとされています。聖天様と十一面觀音様が対になるという考え方があり、その頃はこの二つが主役でした。

天台宗 西光寺

住職
長谷 瑞信 氏



長谷さん

しかし、こちら(現在の上石原地区)に引っ越してきて、まだ聖天様では少し調子が悪いということがやってきて、天台宗に改宗なさいと。

その時に阿弥陀様を本尊としてほしい、そうしようということで新しく阿弥陀様を勧請しました。新しく購入したり作つたりして、阿弥陀様をお迎えしたのです。

※勧請：神仏をお迎えすること

村野広報委員長

お寺のご本尊に阿弥陀様が多いのは、何か理由があるんでしょうか。

長谷さん

阿弥陀様が多い理由は、西方極楽浄土、つまり極楽の仏様という発想があるからです。その西方の「西」をとつて、当寺は西光寺となり、その頃からご本尊も阿弥陀様となりました。

うちの場合は観音堂というお堂が別にあり、そちらに観音様と、かつての聖天様がいらっしゃいます。全ての寺がそういうわけではなく、観音様がご本尊でも「南無阿弥陀仏」と唱えるお寺もあります。一般社団法人 武藏府中法人会

長谷さん

仏教は、最初の頃はそれほど多くなかつたと思いますが、今では仏様もどんどん増えて、お釈迦様が説いたお経に出てくる仏様以外も、たくさんいらっしゃいます。

今お話しした阿弥陀様や極楽に行くという思想は、仏教が成立した頃にはなかつたことが分かつています。後からできた教えですが、それもお釈迦様の教えということになるのです。

村野広報委員長

そうなんですね。結構なんでもありますね。

長谷さん

もともと仏教は修行の教えだったんですよ。今でもチベットや東南アジア方面に伝わった仏教は、袈裟をつけて托鉢をしています。修行僧だけが悟りを開くことができ、修行僧に施しをすることは一般の人々にとつても良いことだ、という教えです。

一方、日本に伝わった仏教は、次第に(思想が)民衆の方へ向かっていきました。とどめは檀家制度です。



長谷さん

現在は主な宗派で言えば、真言宗や禪宗といわれる曹洞宗、臨済宗などがありますが、坐禅を主にする宗派でも、坐禅だけでは檀家さんと触れ合えません。ですから坐禅もしますが、もちろん普通の供養や先祖のための供養も行います。

天台宗も元々は帝などのためのもので、自分たちは修行をするという立場でしたが、そこに極楽へ導くという思想が後からついてきたのです。

もつと極端なことを言うと、今でこそお寺や会館で葬式を行いますが、少し前までは自宅で行うのが普通でした。家から出棺してお墓に入れて帰つてくるので、お寺に行く理由は本来ありません。昔はそこに(自宅での葬儀)お寺の人が付き添うこともなかつたでしょう。



広報委員長が行く!

天台宗 西光寺

住職
長谷 瑞信 氏



（昔の）字が読めなかつたりする人たちに、いくらお経を読め、写経をしろと言つてもできません。そして、日々の暮らしが大変な人たちに仏教を説いても、何にも刺さりません。

そこで、新しい宗派ほど教えが優しくなつていきました。「南無阿弥陀仏」と唱えれば極楽に行けるよ、とまず浄土宗が言いだしたんですね。

長谷さん
（昔の）字が読めなかつたりする人たちに、いくらお経を読め、写経をしろと言つてもできません。そして、日々の暮らしが大変な人たちに仏教を説いても、何にも刺さりません。

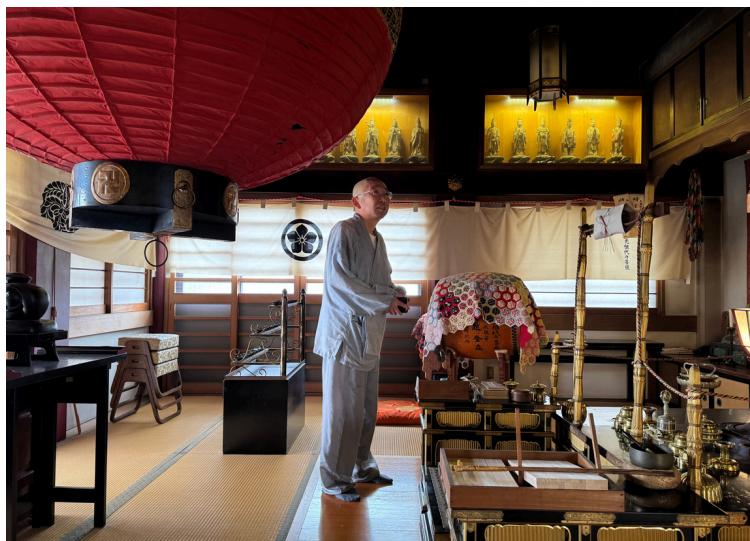
長谷さん
なるほど、仏教の広まり方も色々なんですね。

長谷さん
ちなみに、長谷さんは仏教系の学校に行かれたとか、もともとお勉強をされていたんですか？

長谷さん
サラリーマンを辞めて、最初に六十日間、丸二ヶ月の修行に入りました。そこで基本的なことを身につきました。

長谷さん
辛いですよ。ずっと正座なので足が痛みますし、やり方がいやらしいのです。

村野広報委員長
確かに、昔は結構自宅でお葬式することも多かつたですよね。



長谷さん
淨土真宗はさらに、悪人だつて極楽に行けるという「悪人正機説」を説きます。私はこの考え方が嫌いであります。私はこの考え方が嫌いであります。私はこの考え方が嫌いであります。私はこの考え方が嫌いであります。私はこの考え方が嫌いであります。

長谷さん
そうやつて日本でも仏教が広まつていきました。

その後、日蓮宗は、いよいよお題目だけを言えば大丈夫、ということになります。すごいですね。しかし、その方が広まります。

やがて江戸幕府によつて、あなたはこのお寺の檀家だと指定され、自分の宗派が決まつてしまつた時代になりました。うちなども半ば強制的に全員が天台宗になつたのです。

長谷さん
そうすると、食べる前に量を減らすことはできるので、減らしていきます。どんどん瘦せていき、私は六十キロくらいあつた体重が、四十八キロまで落ちました。食べるのが遅かつたので、仕方なく減らしていました。途中から慣れてきて少し食べられるようになりましたが。

村野広報委員長
二ヶ月でそんなに瘦せてしまつんですか。それは過酷ですね。

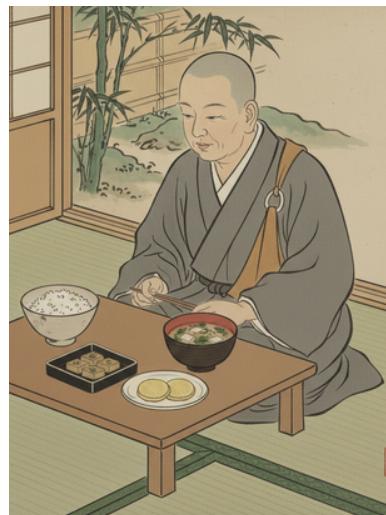
長谷さん
班行動なので、一人ができないと連帶責任になります。

長谷さん
食事も正座で、音を立ててはいけません。でも早く食べないと、正座が長引いてしまつて立てない。食べるのが遅いと皆を待たせることになります。



天台宗 西光寺

住職
長谷 瑞信 氏



長谷さん

昔はもつと長くやっていたらし
いのですが、最近は副業的にやつ
ている人や、僕のように他の仕事
をしていて引き継ぐためにやる人
が多いのです。

地方では兼業のお坊さんも多い
ですし、(仕事を)一ヶ月も休め
ません。以前は三ヶ月だったもの
を短くした分、厳しくなったので
す。

村野広報委員長

仕事を二か月も休むつていうの
は、確かに難しいですね。

長谷さん

(修行中は)携帯電話は取り上
げられ、手紙も検閲されます。食
事中も、一切音を立ててはいけま
せん。器を置くのも静かに。
ちなみに、食事の時は毎食たく
あんが二枚出るのですが、これは
なんのためかというと、最後にお
茶で器を洗うためです。

長谷さん

食器にお茶を入れ、たくあんで
拭きながらきれいにし、最後にそ
のたくあんを食べて終わりです。
せんばつ 洗鉢と言うのですが、それを毎
食ります。

そして後半になると起きる時間

は午前二時頃になります。前の晩
の八時には終わるので、それから
ずっと寝てもいいのですが、カリ
キュラムがどんどん足されていく
ので、寝られません。

慣れてきた頃にまた次の段階へ
進み終わらなくなりますので、睡
眠時間はほとんどなくなります。
思い出したくもないですね。

金縛りになることもあります。最初
は怖かったですですが、毎晩のようにな
ると疲れているからだと分かる
ようになりました。

村野広報委員長

どんどん宿題が増えていくんで
すね。

長谷さん

そうなんです。

とりとめもなく喋つてしまいま
したが、こんな感じで大丈夫なん
でしようか?

村野広報委員長

いえいえ、とてもお話上手で聞
き入つてしましました。

村野広報委員長

突っ込んだことも色々お話しして
くださつて、大変面白かったです。
今日はお時間いただきありがとうございました。

長谷さん

ありがとうございました。

